

もう一つの楽しみ方

～館長のおすすめポイント～

本日は、ご来館いただきありがとうございます。
当館はアイヌ民族をはじめとした北方民族の生活用具を展示している資料館です。
展示資料には詳しい解説や館長の一言解説なども添えられているので、職員の説明がなくても十分お楽しみいただけるかと思えます。

しかし、当館にはもう一つの楽しみ方があります。

それは「**建物自体**」です。

ここの建物は、大正15年に建築された、元「日本銀行函館支店」です。

その後、昭和29年に増改築され長らく銀行として使われておりましたが、平成元年に「函館市北方民族資料・石川啄木資料館」として生まれ変わり、その後、平成5年より「函館市北方民族資料館」となり、現在に至っております。

そんなことから、建物内外には昭和の名残が随所に残っております。

一例を挙げると・・・**正面入口ドア**や**エレベーターの外側部分**、一般には公開していませんが、**地下の元金庫室**もそうです。

その中でも、ぜひ注目して欲しいポイントの一つが「**トイレ**」です。

トイレの個室のドア/フが昭和のままです。**ドア/フが透明なガラス製で、ロックの表示が「使用中」とか文字で表示**されます。

また洗面台もTOTOというメーカーのものですが、昭和29年の増改築の際に取り付けられた**当時の高級品**ということが**メーカーロゴマーク**から判明しています。

(下からのぞくとマークが見えます)蛇口なんかも陶器製でレトロですよ！

男子トイレの**小便器の水洗方式**も古いまま！貯水タンクに一定量の水が貯まると定期的に流れるという仕組みです。昔の学校などで採用された方式です。

トイレ以外でも

2階に上がると展示室6と展示室7と、その前の廊下も昭和、もしかすると大正時代の可能性もあります。

支店長と支店長のお客様をお迎えした応接室などがあり、いわゆる**VIPエリア**がそのまま展示室として活用されています。

解説文が・・・館内には資料に関する解説はもちろん、建物に関する解説文も随所に貼ってありますの、そちらもじっくりご覧ください。

北方民族に興味のある方はもちろん、古い建築物や銀行建築に興味のある方も楽しめる北方民族資料館、ぜひごゆっくりご覧ください。